

平成26年4月22日（火）
利根川水系渇水対策連絡協議会
（事務局：関東地方整備局）

記者発表資料

平成26年度
第1回利根川水系渇水対策連絡協議会
幹事会（春季定例会）の開催結果について

1. 開催状況

日時：平成26年4月21日（月）14：00～

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館
国土交通省関東地方整備局 14階 災害対策本部室

協議会構成：国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、
農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、
群馬県、栃木県、独立行政法人水資源機構

協議会の目的：利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部水政課		住所 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館
水政調整官	なかむら かずお 中村 一夫（内線）3515	
水政課長	こいけ いさむ 小池 勇（内線）3551	
建設専門官	あんびる みのる 安蒜 実（内線）3557	電話 （代表） 048-601-3151

現状と今後の対応

(1) 現状

- ・ 降水量（栗橋上流域平均）の状況
 - 1月の累加降水量は18mm（平年の41%）
 - 2月の累加降水量は114mm（平年の242%）
 - 3月の累加降水量は75mm（平年の113%）
 - 4月20日までの累加降水量は25mm（4月の累加降水量の平均は90mm）
- ・ 積雪の状況（4月21日9時現在）
 - 藤原ダム地点 積雪深0cm
 - 尾瀬沼地点 積雪深161cm（平年の96%）
- ・ 利根川上流8ダムの貯水状況（4月21日0時現在）
 - 貯水量は平年を上回る貯水量となっています。
 - 貯水量3億9,883万m³、貯水率86%、平年比114%

(2) 今後の見通し

- ・ 気象庁発表の気象情報（3ヶ月予報）によると、4月の降水量は「少ない」、5月、6月は「平年並」となっています。
- ・ 利根川上流5ダム（矢木沢、奈良俣、藤原、相俣、菌原）は、毎年4月から5月にかけて、融雪水により貯水量を回復する時期となっており、例年では4月中旬から5月にほぼ満水となります。現在、融雪水の貯留に努めており、平年並みのダム流入量であれば、5ダムにおいては満水まで回復が考えられます。融雪水の少ない下久保ダムにおいては、下流の河川の必要量を確保しつつ、極力貯留に努めます。
しかし、今後は水需要の多い時期になることから、降雨状況によっては、利根川上流8ダムの貯水量が不足することも考えられます。
- ・ 鬼怒川上流4ダムの貯水量は平年を上回る貯水量となっており、今後下流の農業用水等水需要に対して必要な水量を確保するためダムからの補給を行っていきませんが、降雨状況によっては、貯水量が不足することも考えられます。

(3) 今後の対応

- ・ 利根川上流8ダム、鬼怒川上流4ダム等は、本年の利根川上流域の融雪状況や降雨、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
また、上流ダム群の貯水量の状況や積雪及び降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- ・ 利根川水系渇水対策連絡協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的な対応を行っていきます。

利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



矢木沢ダム（平成26年4月14日撮影）

平成26年4月21日

関東地方整備局

1. 利根川上流ダム群等の現状

1) 利根川

(1) 降水量

平成25年4月以降の栗橋上流域平均累加降水量は、5月、6月、7月、8月及び11月が平年を下回りました。

平成26年に入り、1月は平年を下回りましたが、2月、3月は平年を上回りました。

4月の月降水量は、20日までの累加で25mmとなっています。(4月の累加降水量の平均は90mm)

(図-1、表-1)

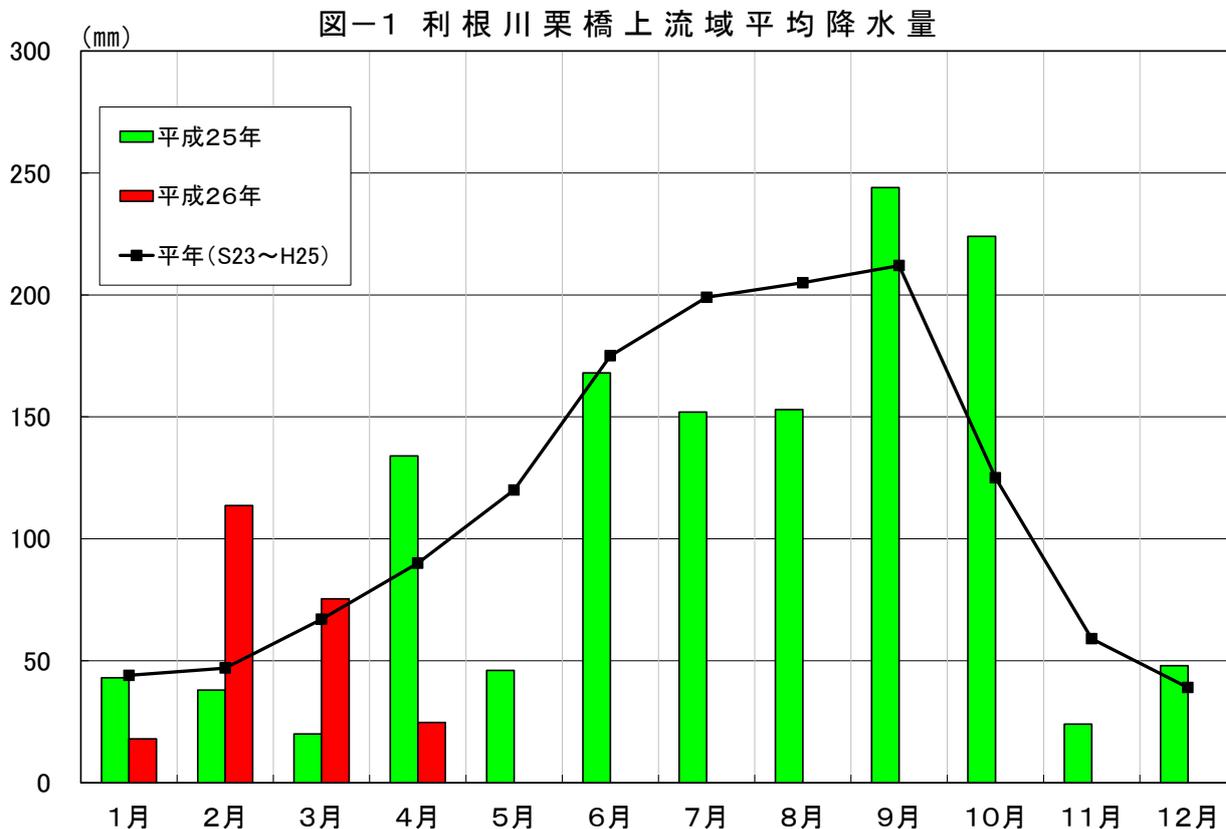


表-1 利根川栗橋上流域平均降水量 (平成26年4月20日まで)

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏湯水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	"
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏湯水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬湯水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏湯水
平成24年	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395	"
平成25年	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1,294	"
平年 (S23~H25)	44	47	67	90	120	175	199	205	212	125	59	39	1,381	
平成26年	18	114	75	25									232	
平年比 (%)	41	242	113	27									17	

※ 利根川取水制限実施月 (一時緩和含む)

※ 栗橋上流域面積 8,588km²

(2) 藤原ダム地点及び尾瀬沼地点の積雪状況

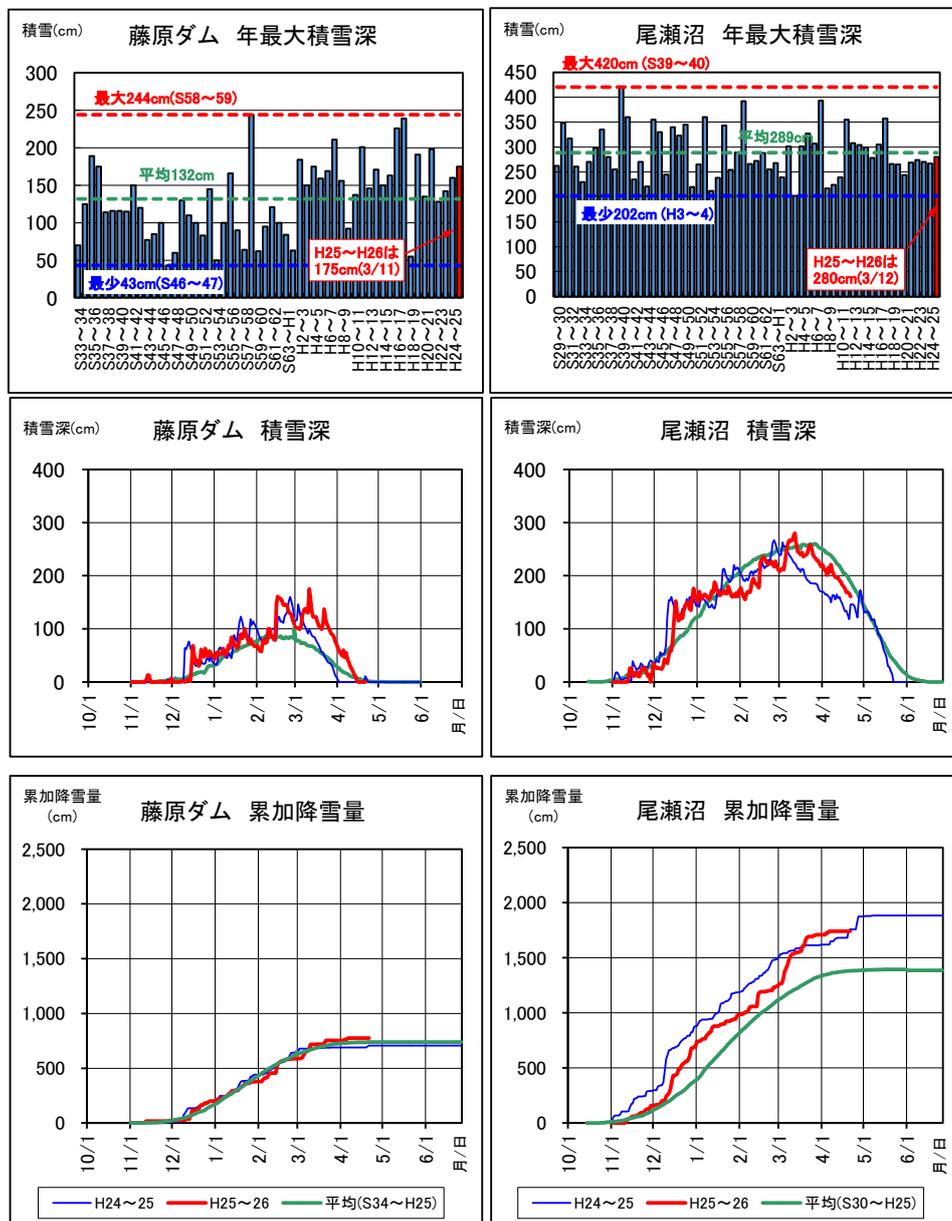
藤原ダム地点は12月中旬頃に平年を上回る積雪深となりました。その後も平年を上回る積雪深となっています。また、尾瀬沼地点は、12月中旬に平年を上回る積雪深となりましたが、その後1月中旬から平年を下回る積雪深となっています。

今期の最大積雪深は藤原ダム地点で175cm(3月11日)、尾瀬沼地点で280cm(3月12日)となっています。平成26年4月21日9時現在、藤原ダム地点の積雪深は0cm、尾瀬沼地点の積雪深は、161cm(平年の96%)となっています。(表-2、図-2参照)

表-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼ダム地点の積雪深、累加降雪量図

観測所名	時 点	積雪深	今期最大積雪深	累加降雪量
藤原ダム (標高667m)	平成26年4月21日9時現在	0cm	175cm(3月11日)	774cm
	S34~H25の4月第5半旬末平均値	1cm		738cm
尾瀬沼 (標高1666m)	平成26年4月21日9時現在	161cm	280cm(3月12日)	1,740cm
	S30~H25の4月第5半旬末平均値	168cm		1,386cm

図-2 藤原ダム地点及び尾瀬沼ダム地点の積雪深、累加降雪量図



平成26年4月21日9時現在 ※過去のデータは半旬末の値

(3) 各観測所の積雪深の状況

(図-3、図-4参照)

図-3 積雪観測所位置図

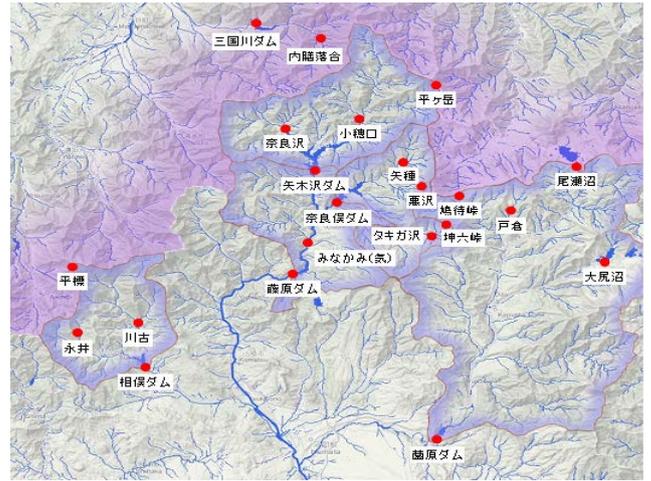
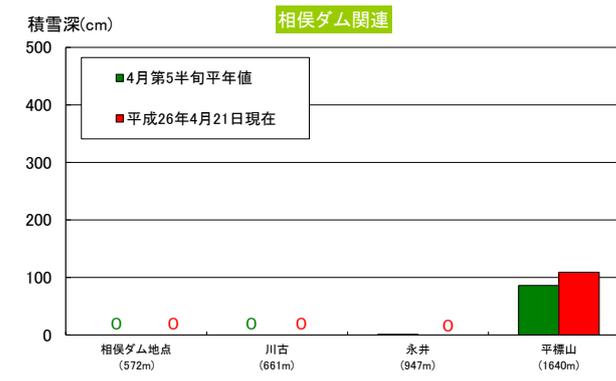
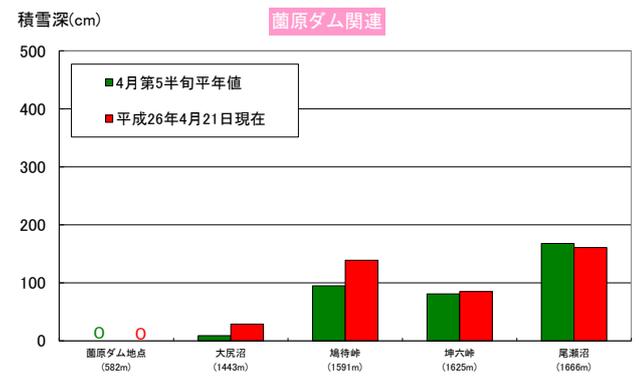
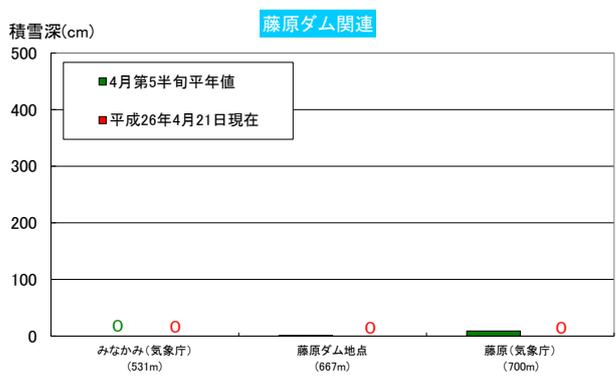
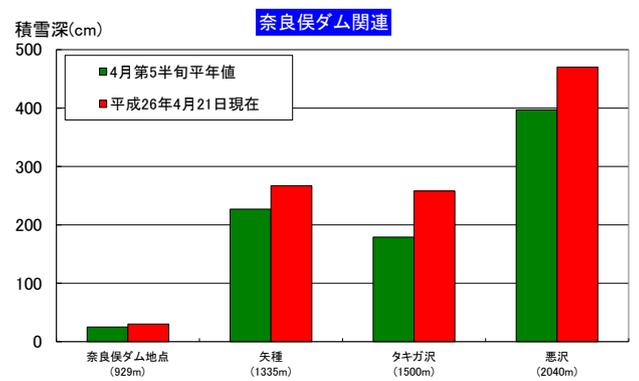
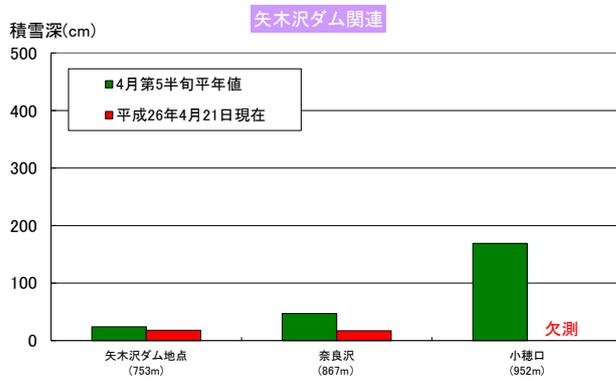


図-4 各観測所の積雪深状況



平成26年4月21日現在

(4) 利根川上流ダム群の貯水状況

平成25年の利根川上流8ダムは、5月からの少雨の影響を受け、都市用水や農業用水の需要を確保するために、ダムに貯留した水を補給しました。その結果、利根川においては、7月24日から9月18日の57日間（一時緩和期間を含む）にわたり10%の取水制限（施設未完成による暫定水利権については20%の取水制限）を実施しました。

9月以降は台風等の降雨によりダムの貯水量が回復しましたが、12月以降補給となりました。

平成26年4月21日0時の貯水量は3億9,883万 m³、貯水率86%、平年比で114%となっています。

(表-3、図-5)

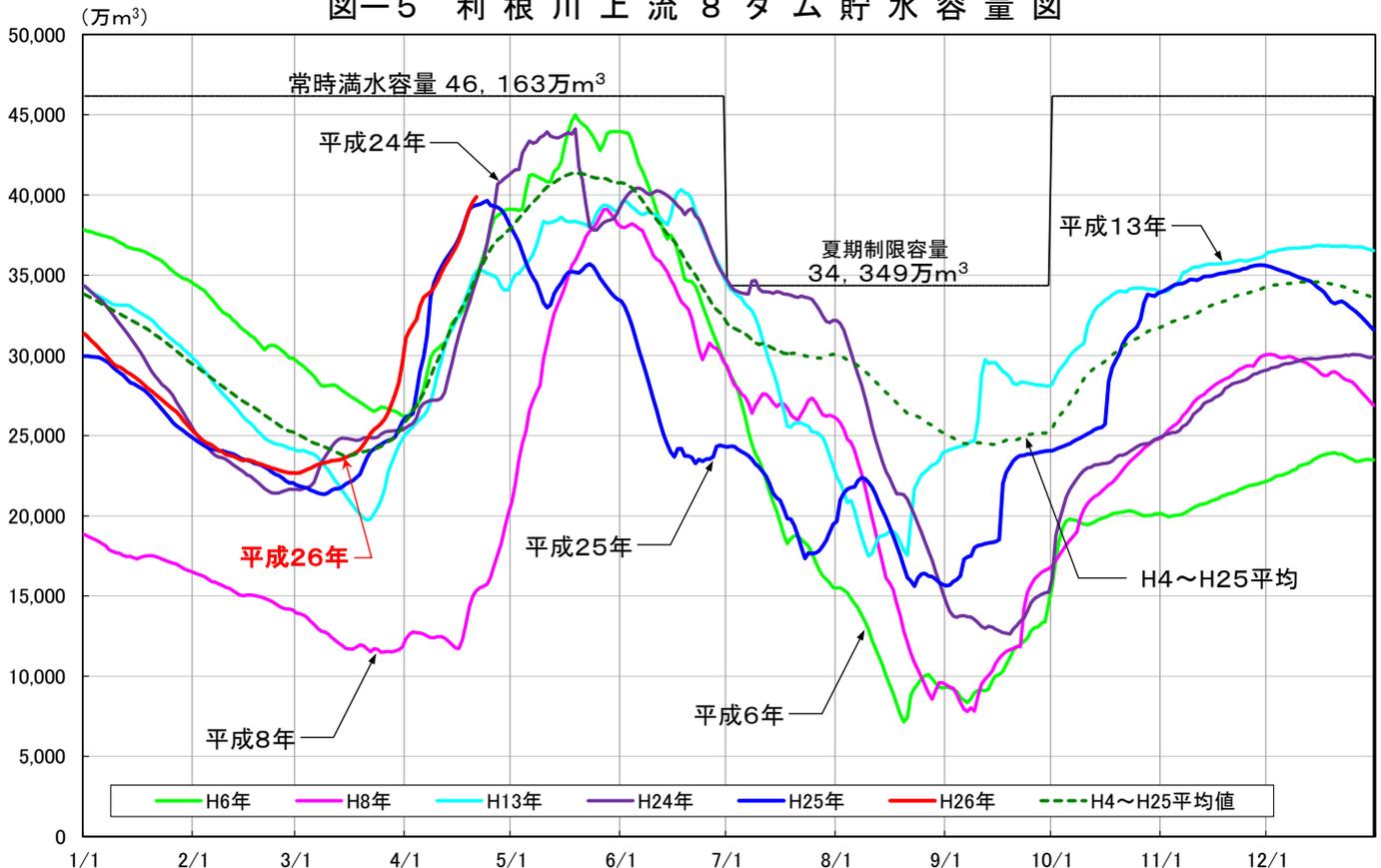
表-3 利根川上流8ダム貯水量

平成26年4月21日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
矢木沢ダム	11,550	10,187	88	-191
奈良俣ダム	8,500	7,022	83	-101
藤原ダム	3,101	2,812	91	-12
相俣ダム	2,000	1,766	88	20
藪原ダム	1,322	978	74	22
下久保ダム	12,000	10,068	84	-19
草木ダム	5,050	4,897	97	10
渡良瀬貯水池	2,640	2,153	82	-45
8ダム合計	46,163	39,883	86	-316
8ダム合計の平年値 (H4~H25平均)		34,923	(平年比114%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(マイナスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が少ない)

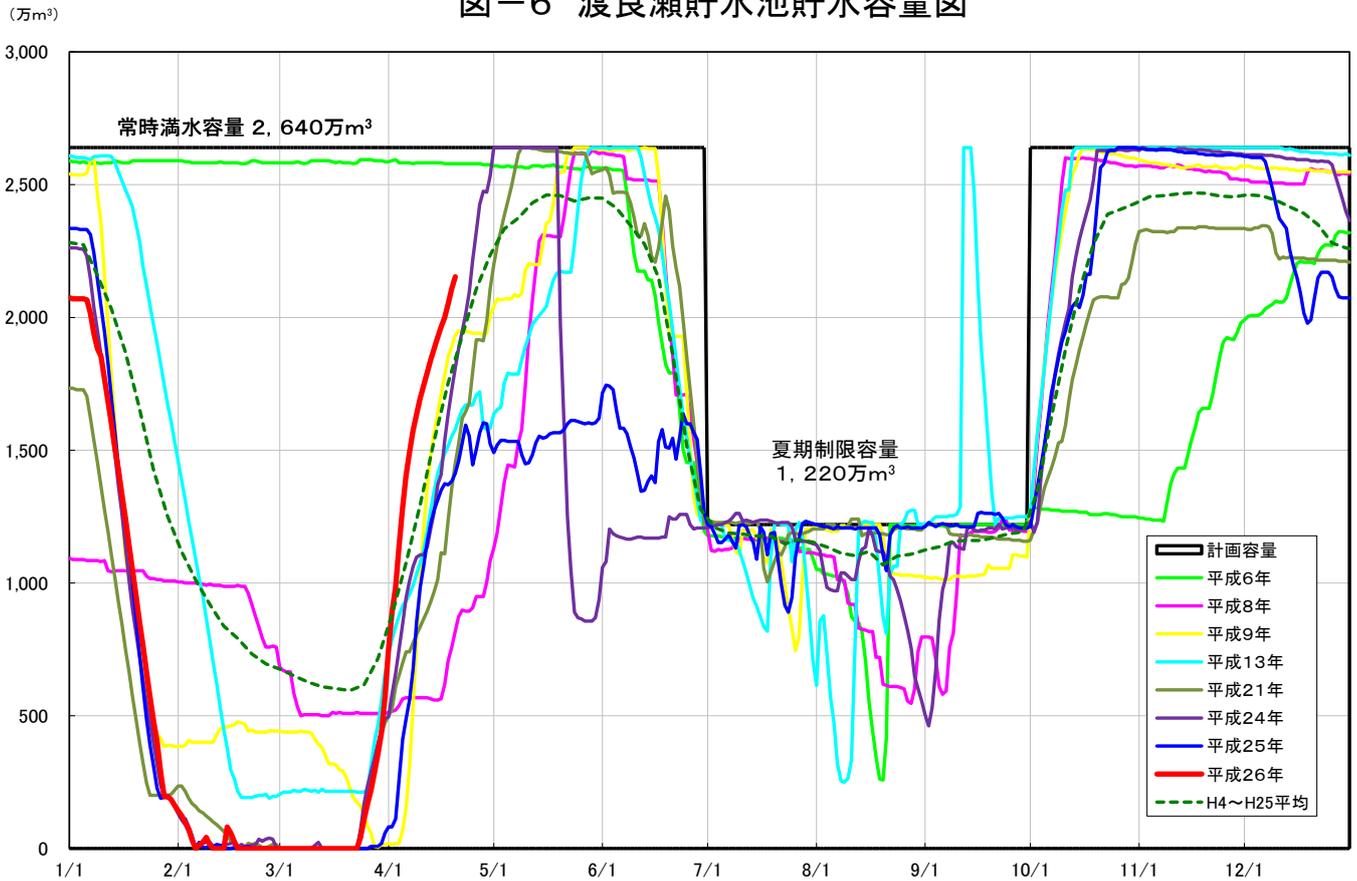
図-5 利根川上流8ダム貯水容量図



(5) 渡良瀬貯水池の現状

渡良瀬貯水池は水質改善のため、平成9年から利根川の流況を見ながら「干し上げ」を行っています。今年も1月6日より補給も兼ねつつ水位を下げ、干し上げを実施しました。その後3月24日より貯留し、平成26年4月21日0時現在の貯水量は、2,153万m³、常時満水容量2,640万m³に対して82%、平年の貯水量1,879万m³に対して115%と平年を上回っています。(図-6参照)

図-6 渡良瀬貯水池貯水容量図



2) 鬼怒川水系

(1) 降水量

平成25年4月以降の鬼怒川佐貫上流域平均累加降水量は、5月、6月、7月、8月及び11月が平年を下回りました。

平成26年に入り、1月は平年を下回りましたが、2月、3月は平年を上回りました。

4月の月降水量は、20日までの累加で22mmとなっています。(4月の累加降水量の平均は105mm)

(表-4、図-7)

図-7 鬼怒川佐貫上流域平均降水量

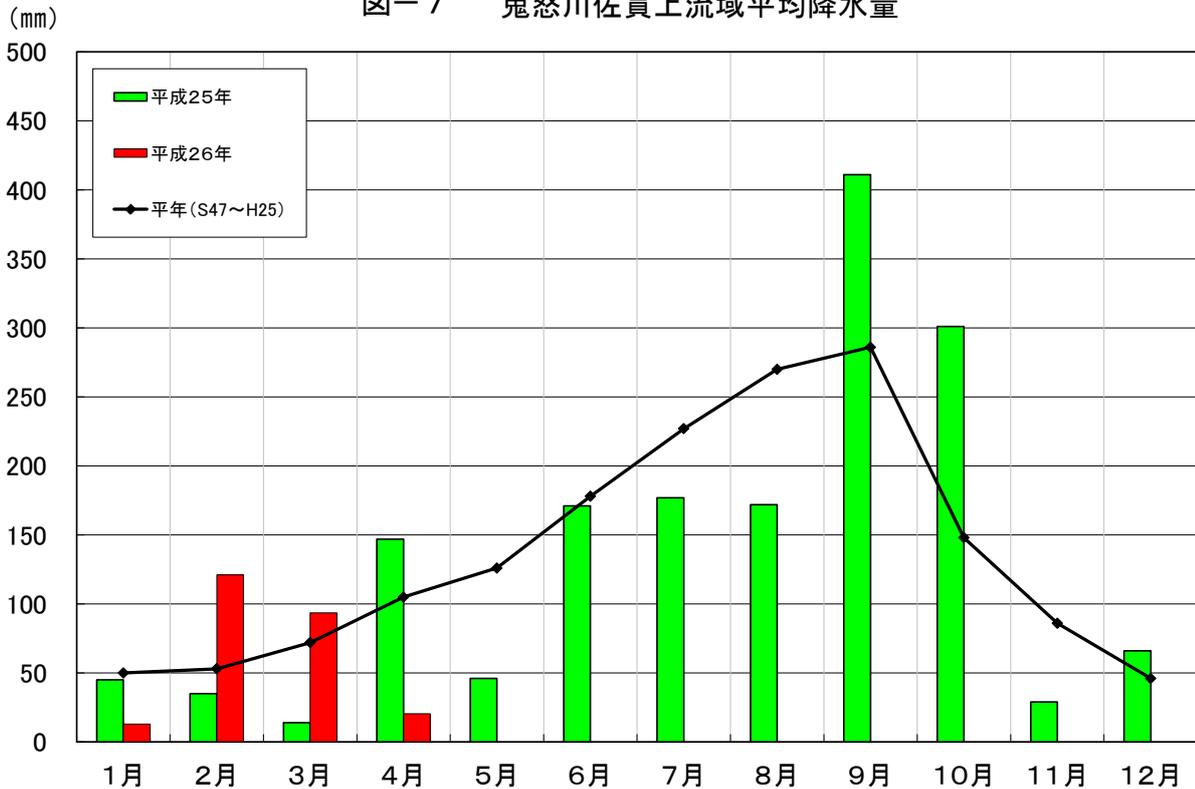


表-4 鬼怒川佐貫上流域平均降水量 (平成26年4月20日まで)

単位:(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301	
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853	
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583	
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140	
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525	
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980	
平成24年	40	47	101	111	314	276	227	109	354	113	71	75	1,838	
平成25年	45	35	14	147	46	171	177	172	411	301	29	66	1,614	
平年(S47~H25)	50	53	72	105	126	178	227	270	286	148	86	46	1,647	
平成26年	13	121	94	22									250	
平年比(%)	26	228	130	21									15	

※. 鬼怒川佐貫上流面積 940km²

(2) 鬼怒川上流ダム群の貯水状況

平成25年の鬼怒川上流4ダムは、4月中旬より都市用水や農業用水の需要を確保するために、ダムに貯留した水を補給しました。その結果、7月上旬には平年を下回る貯水量となりました。

鬼怒川においては、7月25日から9月6日の44日間（一時緩和期間を含む）にわたり10%の取水制限を実施しました。

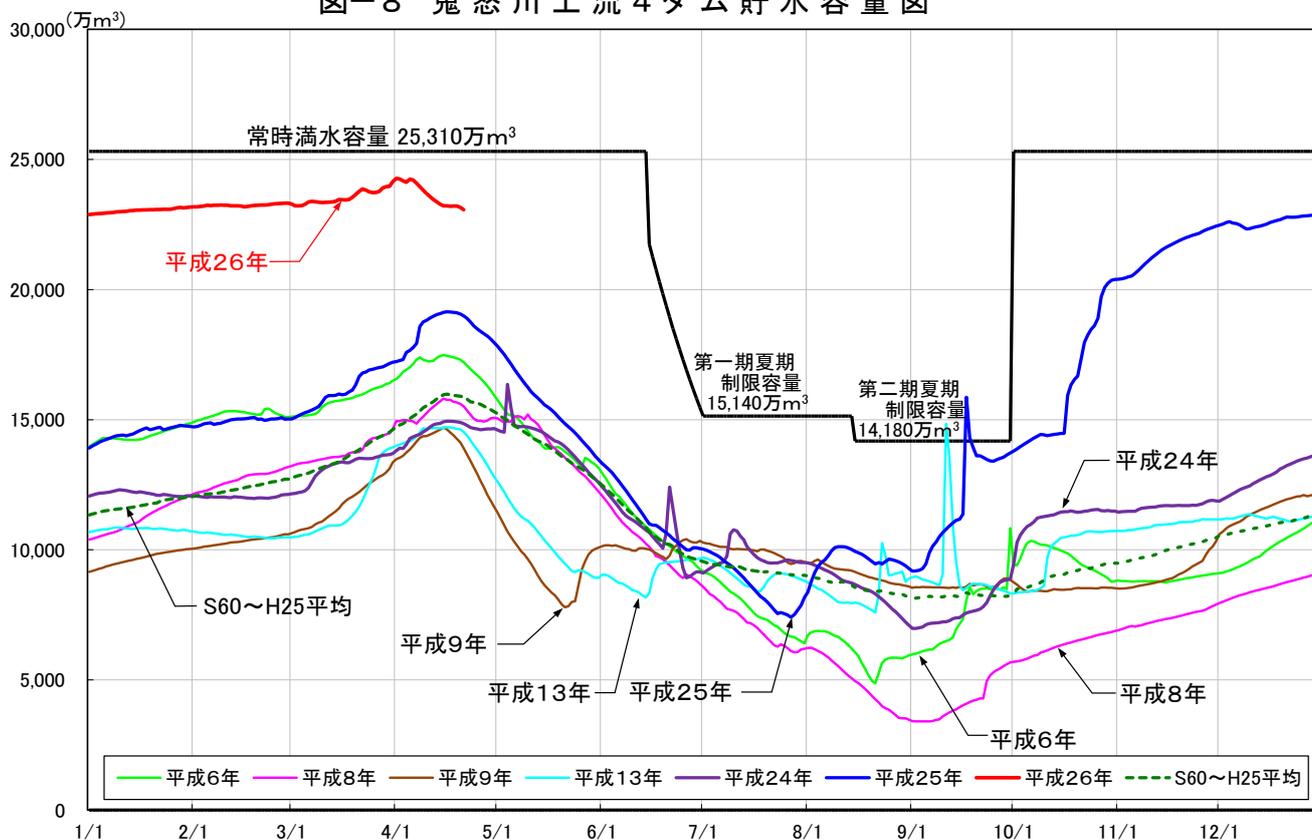
9月以降は台風等の降雨によりダムの貯水量が回復し、平成26年4月21日0時の貯水量は2億3,047万m³、貯水率91%、平年比で145%となっています。（表-5、図-8）

表-5 鬼怒川上流4ダム貯水量

平成26年4月21日0時現在				
ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
五十里ダム	3,200	2,035	64	34
川俣ダム	7,310	6,896	94	39
川治ダム	7,600	6,916	91	15
湯西川ダム	7,200	7,200	100	0
4ダム合計	25,310	23,047	91	88
3ダム（五十里、川俣、川治） 合計の平年値（S60～H25平均）		15,856	（平年比145%）	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流
4. 平年比は、五十里ダム、川俣ダム、川治ダムの3ダムの平均貯水量に対する割合であり、参考値。

図-8 鬼怒川上流4ダム貯水容量図



※S60～H25平均は、五十里ダム、川俣ダム、川治ダムの3ダムの合計である。

3) 荒川水系

(1) 降水量

平成25年4月以降の荒川秋ヶ瀬上流域平均累加降水量は、5月、7月、8月及び11月が平年を下回りました。

平成26年に入り、1月、3月は平年を下回りましたが、2月は平年を上回りました。

4月の月降水量は、20日までの累加で25mmとなっています。(4月の累加降水量の平均は98mm)

(図-9、表-6)

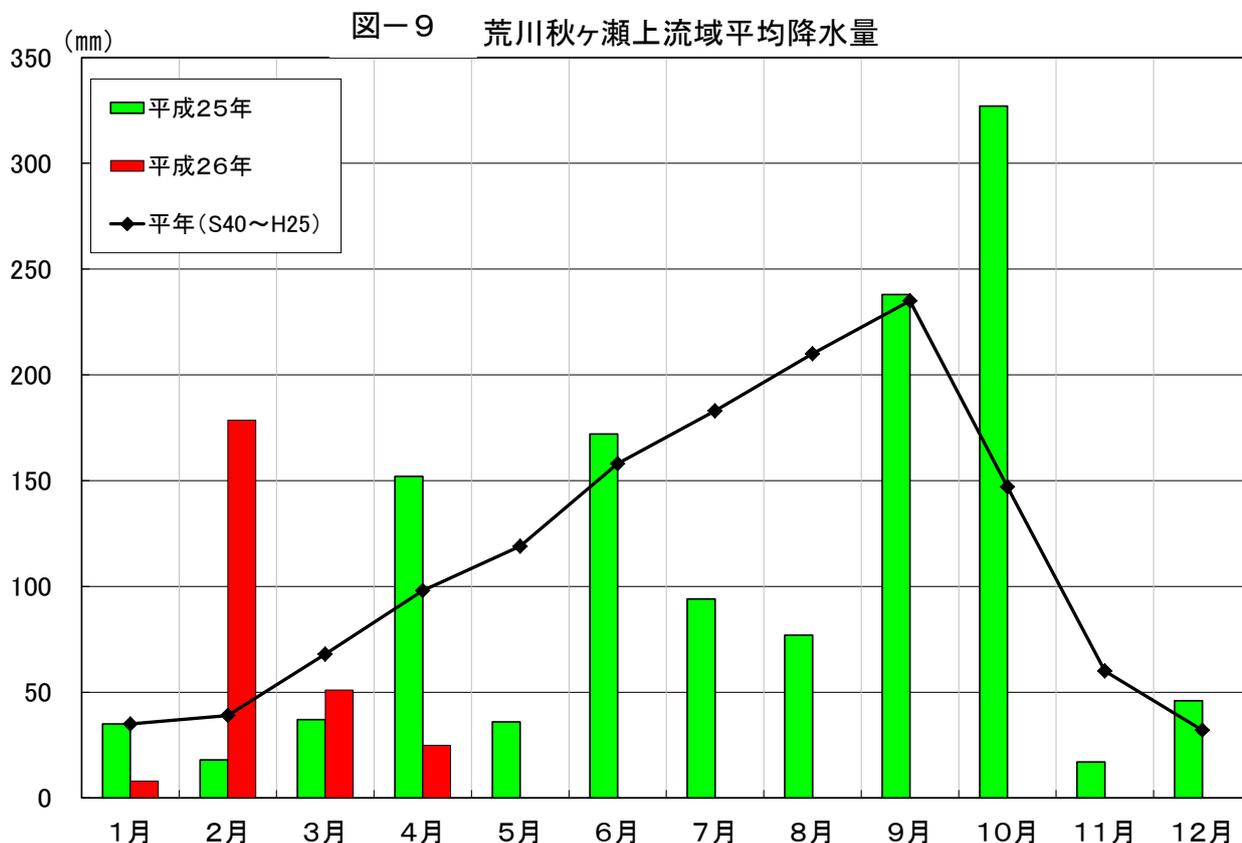


表-6 荒川秋ヶ瀬上流域平均降水量 (平成26年4月20日まで)

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏湯水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏湯水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏湯水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏湯水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏湯水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏湯水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏湯水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬湯水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏湯水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏湯水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏湯水
平年(S40-H25)	35	39	68	98	119	158	183	210	235	147	60	32	1,383	
平成26年	8	179	51	25									263	
平年比(%)	23	458	75	25									19	

※: 荒川取水制限実施月 (一時緩和含む)

※: 秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km²

(2) 荒川上流ダム群の貯水状況

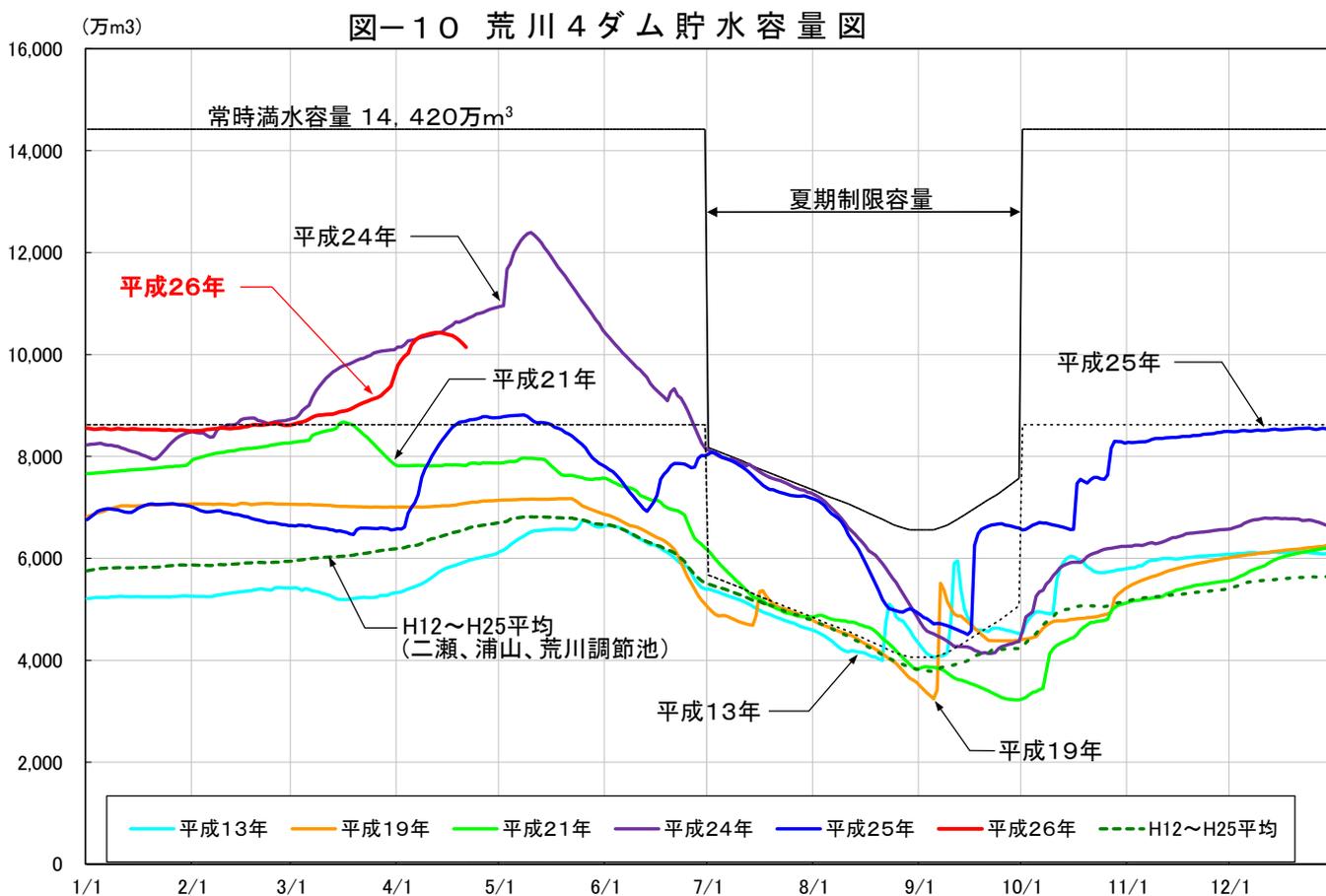
平成25年の荒川上流4ダムは、5月中旬より都市用水や農業用水の需要を確保するために、ダムに貯留した水を補給しました。その結果貯水量が減少しました。

9月中旬以降は台風等の降雨によりダムの貯水量が回復し、平成26年4月21日0時の貯水量は1億0,143万m³、貯水率70%、平年比で154%となっています。(表-7、図-10)

表-7 荒川4ダム貯水量
平成26年4月21日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
二瀬ダム	2,000	904	45	-10
滝沢ダム	5,800	4,990	86	84
浦山ダム	5,600	3,234	58	-5
荒川貯水池	1,020	1,015	100	2
4ダム合計	14,420	10,143	70	71
3ダム(二瀬、浦山、荒川貯水池) 合計の平年値(H12~H25平均)		6,573	(平年比154%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(プラスの場合はダムの集水区域からダムへ流入してくる水より、ダムから放流する量が多い)
4. 平年比は、二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池の3ダムの平年貯水量に対する割合であり、参考値。



※H12~H25平均は、二瀬ダム、浦山ダム、荒川貯水池の3ダムの合計である。

4) 多摩川水系

(1) 降水量

小河内ダム上流域の平成26年4月の月降水量は、20日までの累加で27mmとなっています。
 (4月の累加降水量の平均は112mm) (図-11、表-8)

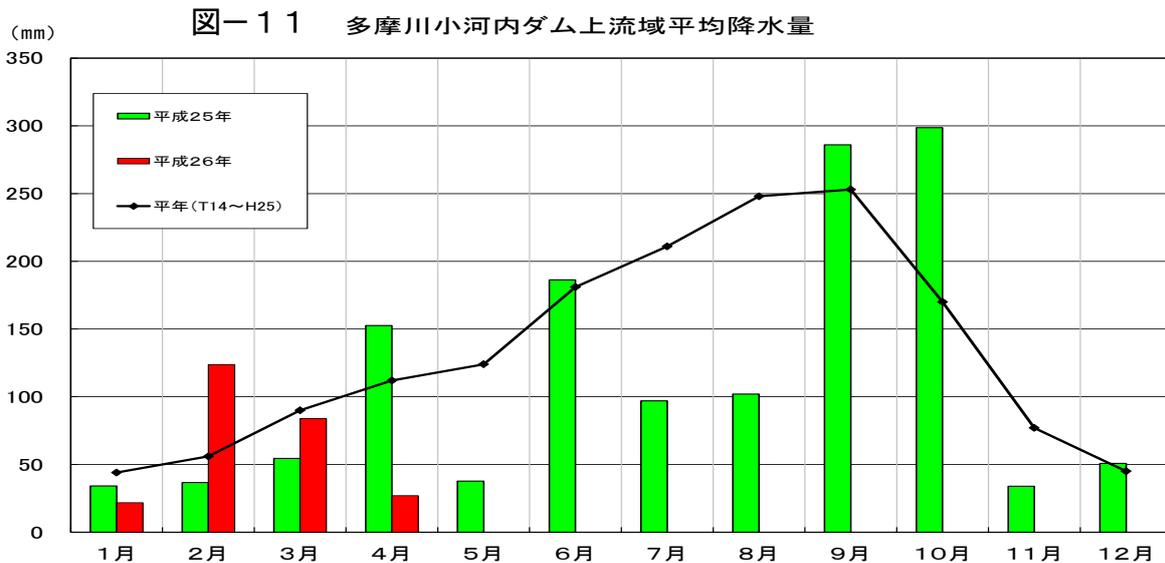


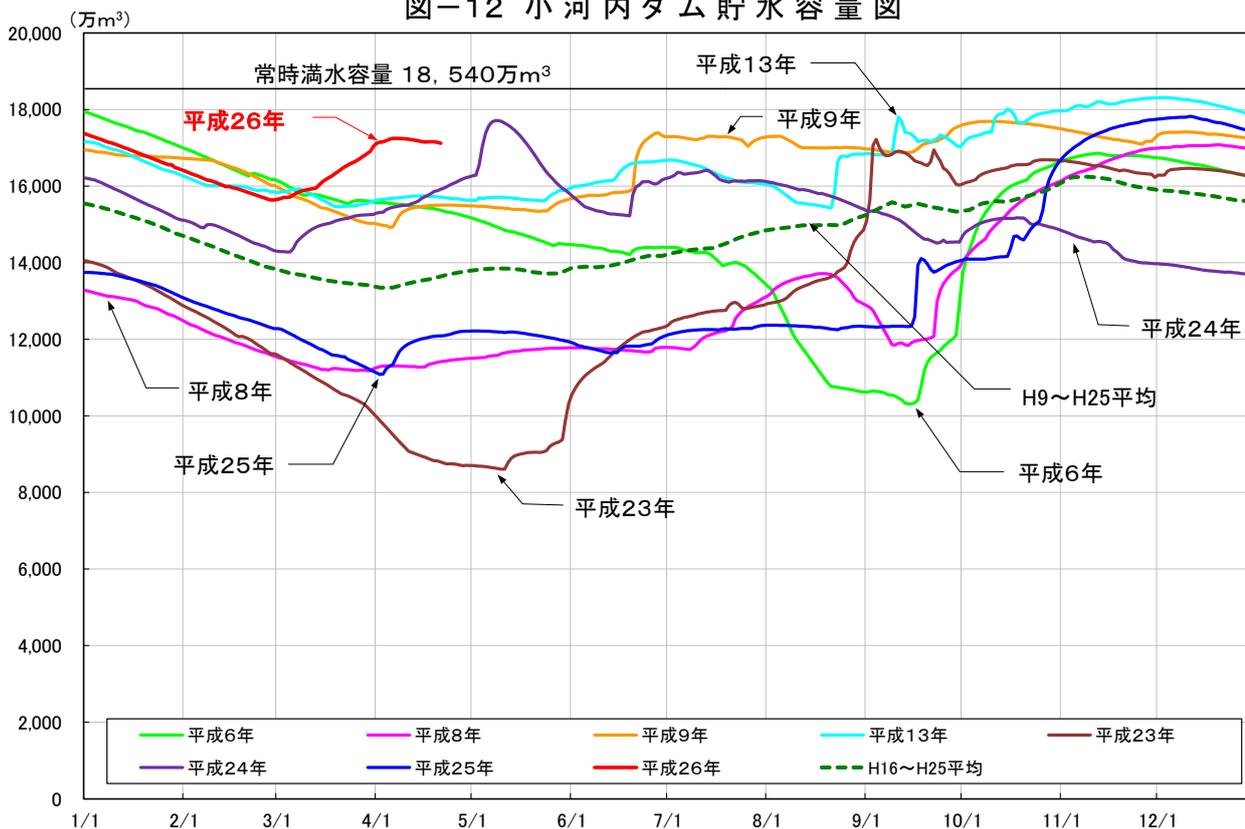
表-8 多摩川小河内ダム上流域平均降水量 (平成26年4月20日まで)

単位: (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
平成25年	34	37	55	153	38	186	97	102	286	299	34	51	1,370	
平成26年	22	124	84	27									256	
平年(T14~H25)	44	56	90	112	124	181	211	248	253	170	77	45	1,611	
平年比(%)	50	221	93	24										

(2) 小河内ダムの貯水状況

4月21日7時現在の貯水量は、1億7,122万m³となっています。(図-12)

図-12 小河内ダム貯水容量図



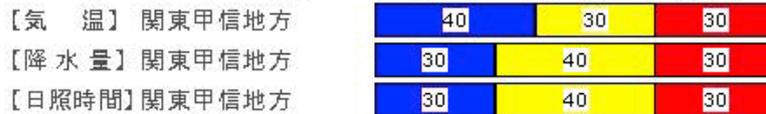
2. 今後の見通し

(1) 見通し

① 平成26年4月17日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(4月19日から5月18日までの天候見通し)によると、平年と同様に比べ晴れの日が多く、向こう1ヶ月の降水量は「平年並」の確率が40%となっています。また、3月25日気象庁発表の3か月予報(4月から6月までの天候見通し)によると、4月は平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「少ない」の確率が40%となっており、5月の天気は数日の周期で変わり、6月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、降水量は5月、6月ともに「平年並」の確率が40%となっています。

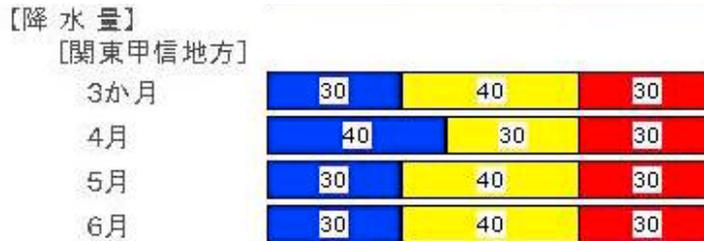
なお、2月25日気象庁発表の暖候期予報(3月から8月までの天候の見通し)によると、6月から7月は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、降水量は「平年並」の確率が40%となっています。

1か月予報(平成26年4月17日発表)



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

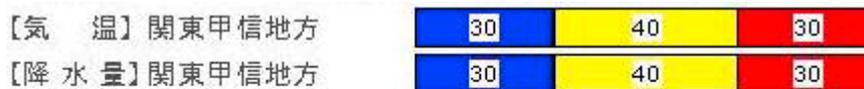
3か月予報(平成26年3月25日発表)



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

暖候期予報(平成26年2月25日発表)

〈夏(6月~8月)の気温、降水量の各階級の確率(%)〉



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

〈梅雨の時期(6月~7月)の降水量の各階級の確率(%)〉



凡例: ■ 少ない ■ 平年並 ■ 多い

